



しおかぜだより

～ 敬老会 ～

今年は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、入所とデイケア分散しての「ミニ敬老会」となりました。

ご家族様やご来賓の方々をお招きしての楽しい会食、ボランティアの方の楽しい余興を執り行うことは出来ませんでした。ささやかな敬老会を行いました。

入所では9月18日に3階フロアにて、白寿の方1名・長寿の方1名をお祝いしました。鶴原施設長から花束の贈呈に加え、歌のプレゼント。さらにリクエストに応え、土井看護師長・角介護長からも歌のプレゼントがあり大変盛り上がりました。長寿の方々に一言頂いた際には、感動ゆえに言葉を詰まらせる方もおられました。



通所では9月14日にデイフロアにて、白寿の方2名・米寿の方7名をお祝いしました。鶴原施設長から花束のほか、ご利用者様によるお祝いの詩吟も披露されました。また、上皇陛下・上皇后陛下の御成婚パレードなど昭和時代の懐かし映像をご覧になり、昔を懐かしんでおられました。さらにデイケア職員から手作りの写真立てのプレゼントもあり、涙ぐまれる方もおられました。



それぞれのミニ敬老会、ご馳走や余興が無くても楽しく温かい時間を過ごして頂けたのではないかと思います。来年の秋には新型コロナウイルスの流行が終息し、またいつものような敬老会が開催されることを願います。





～ お花畑 ～



2階ベランダには、いくつかのプランターのお花畑があり、今はペチュニアやインパチェンスなどが鮮やかに咲いています。

このお花畑の水やりは入居様がしてくださっています。今年の猛暑時も、毎日欠かさず決まった時間に水やりをしてくださいました。時には草取りもしてくださいました。おかげで今年もたくさんの花が咲き、他入居者様や職員の心を癒してくれています。



～オンライン面会開始のお知らせ～



新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、長期にわたりご利用者様とご家族様の面会をご遠慮していただき、大変御不便をおかけしております。そこで当施設では、少しでもご利用者様とご家族様のコミュニケーションがとれるようにと、9月8日より「オンライン面会」（ビデオ通話による面会）を開始しました。

実施要領は、下記の通りです。

- ① 面会のご家族様のみ（2名様以内）とさせていただきます。
- ② 面会は平日のみ、時間は、①14:00～②14:45～③15:30～の、1日3組様までとさせていただきます。
- ③ 面会時間は、15分以内とさせていただきます。
- ④ 面会にお越しの際は、事務所職員にお声をおかけ下さい。健康状態申告書をご記入後、係員が1階別室にご案内します。
- ⑤ ご利用者様は施設のパソコンを使用します。
- ⑥ 面会時には、機械操作およびご利用者様の見守りのため、職員が同席させていただきます。あらかじめご了承ください。

なお、面会をご希望の方は前日までにご予約が必要となります。電話（0859-31-1000）または事務所窓口（平日のみ8:30～17:30）にて、お申込みをお願いいたします。

オンライン面会の開始により、ご利用者様とご家族様ともに安心していただき、普段と変わらぬ生活を送っていただきたいと思います。



鶴原施設長のお役にたてば情報 第22回



～30年後（2050年）の予想される介護の姿～

今回は、雑誌老健 300号に記載されていた老健施設の過去・現在・未来の特別企画から未来について記載されていた一部を紹介いたします。

日本の人口を見ていくと老健施設が本格実施された1988年（昭和63年）は、1億2200万人だったが、2053年には1億人を割って9924万人になると予想されています。また、生産年齢人口は2029年には7000万人、2056年には5000万人を下回ると予想されています。2050年には100歳以上の高齢者数は50万人をこえると推計されています。

こうした少子高齢化・人口減少、特に生産年齢人口の減少が進む我が国では、人手不足が深刻化します。2050年に向けての老健施設運営は業務を自動化し、人間しかできない専門性に特化した業務環境構築が必要となると予測されています。

そこでテクノロジー（工業技術）の進化によりデータや数字を扱う仕事や単純な記録などの定型業務はAI（人工知能）に委ねられ、非定型型で創造的な思考が必要で専門性の高い対人援助職の需要が高まってきます。今後は、老健でもデータサイエンティストのスキルやAI技術の知識を有する技術職の需要が発生することが予測されます。

この先ロボット技術の進化により移乗介助・移動支援・排泄支援・入浴支援・見守り支援・コミュニケーション・介護業務支援がロボットで可能となることが予想されています。他方テクノロジーの進化と倫理が相反する可能性は核開発の平和利用と核兵器開発のようなことがあります。生体チップの体内埋め込みによるデータのAI処理による中央管理で移乗・移動・送迎・排泄・入浴・服薬・食事等が人の手によらずロボット（コンシェルジュロボット）によってなされる。人間の知性を超えたAIが要介護認定からケアプラン作成まで行い、多くのサービスはロボットにより提供され、その内容は自動的に記録される。

職員は煩雑な作業から解放され、人間しか出来ない暖かいケアを実施出来るようになる。そのためにも科学技術の発展によりきわめて効率化された環境下で働く多職種がより専門性を先鋭化させ、機械ではなく人間が人間にしか出来ない高品質なサービスを提供することが「人生100年時代」を支える術となっているのではないかと思います。





～ 土井看護師長勤続30周年 ～



勤続30周年を迎えられ、表彰された土井看護師長にコメントをいただきました。

「この度、永年勤続30年を迎えさせていただきました。

振り返りますと、20代で博愛病院に就職し、沢山のひと出会い、沢山のひとに支えられ、育てていただき、今日という日を迎えることができたこと、本当に嬉しく思います。

私は、仕事に対するモットーがあります。それは、「同じ仕事なら、楽しみながら仕事をしよう」ということです。仕事は楽しいことばかりではありません。時には、壁にぶち当たったり、辛いことや、悩んだりすることもたくさんあります。でもそんな時でも、どうしたら楽しめるかを常に考えやってきました。

管理者になってからは、自分だけではなく一緒に働くスタッフにも楽しく仕事をしてほしいと考えるようになり、「楽しく働ける職場作り」を目標に取り組んできました。

今年の4月から病院からやわらぎに移動しましたが、仕事に対するモットーは変わりません。やわらぎでの仕事は、まだまだ不慣れな点も多くありますが、スタッフみんなが楽しく働ける職場作りを目指して、これからも頑張っていきたいと思えます。」



～ 危険予知トレーニング研修会 ～



9月8日に、危険予知トレーニング研修会を行いました。危険予知トレーニングとは、職場や作業場面に潜む危険要因（問題点）とそれが引き起こす現象（事故）を職員間で話し合い、そういった場面が発生する前に解決させるための訓練です。

例年であればグループに分かれて検討会を行うことで、多職種から色々な視点の意見がでる賑やかな研修会となるのですが、今年は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、グループ討議は行わず会場もふたつに分かれて行いました。

入浴・食事・移動の3場面について、イラストだけではなく当施設の現場写真も題材にトレーニングを行いました。想定以外の意見、明日から実際に活かせる意見など有意義な研修会となりました。

新型コロナウイルスの感染拡大防止対策のため、施設内の環境も従来のものとは変わりつつあり、今まではなかった危険要因も増えています。これからもトレーニングを繰り返すことで、ご利用者様が安全で快適な環境で過ごして頂けるよう努力してまいります。





～リハビリ部からの耳寄り情報～



安全に歩きたい。安心して外へ出たい。足腰にかかる負担を減らしたい。そんな時に活躍するのが「杖」です。その中でも一般的な「T字杖」について基本的な使い方をお話しようと思います。

① 杖の長さ

杖の長さは自身の身長 $\frac{1}{2} + 3\text{cm}$ が基本です。ただし、あくまで目安ですので、実際に手に取って使いやすい高さに微調整してください。

② 杖の握り方

痛みや麻痺のある足にかかる負担を減らすため、痛みや麻痺のある足の反対の手に杖を持ちます。グリップは人差し指と中指で杖を挟むように握ってください。

③ 歩き方

「T字杖」を使用した歩行方法は、「3点歩行」と「2動作歩行」のふたつがあります。

3点歩行とは、「杖を出す。」→「痛い方の足を出す。」→「痛くない方の足を出す。」→「杖を出す。」の繰り返しです。

2動作歩行とは、「杖と痛い方の足を同時に出す。」→「痛くない方の足を出す。」→「杖と痛い方の足を同時に出す。」の繰り返しです。

④ 杖が支えてくれる重さ

杖が支えてくれる重さは意外と少なく、体重の $\frac{1}{6}$ までとされていますので、杖はあくまで歩行をサポートする道具です。

杖を正しく使用していただくと歩行の強い味方となりますが、杖が支えてくれる重さはごくわずかであることを理解していただきたいと思います。現在使用されている杖やご自身の歩行状態に不安のある方は、お気軽にリハビリ部までご相談ください。

T字杖⇒



握り方⇒



～ 新 人 紹 介 ～



介護士

足立 諒



7月1日から入職しました足立諒（あだち りょう）です。介護の世界に携わってから3年間と日が浅く、先輩方から日々学ぶことばかりです。

ご利用者様から早く信頼していただけるよう若さをフルパワーに活かして頑張ります。



～ デイケアだより ～

デイケアで午前中に実施しておりますグループ活動の中から、今号は「体操グループ」で新たに追加した体操についてご紹介いたします。

- ① いきいき体操Ⅰ …、おなじみの歌謡曲や童謡などの懐かしい曲に合わせて楽しく身体を動かしていく体操です。
- ② いきいき体操Ⅱ …やさしいヨガでゆっくり身体を伸ばしながら行う体操です。
- ③ 早口言葉で口腔トレーニング …早口言葉を用いて楽しみながらバランスよく口腔機能の維持・向上につけていく体操です。
- ④ 脳が元気になる！歌って手拍子体操 …童謡を歌いながら同時に指定のタイミングで手拍子することで頭を活性化させる音楽体操です。



以前から行っている体操(ごぼう先生体操・ご当地体操・リズム体操等)も日替わりメニューとして行っています。

皆様で今後やってみたい体操等活動がありましたら、ご意見をおよせください。

新型コロナウイルスの影響により、外出の機会も減り身体を動かすことが少なくなったと感じておられる方は、ぜひ体操グループにご参加お待ちしております。

また、「創作活動グループ」では11月の作品展に向けて習字、絵画、工作、陶芸、手芸その他、様々なジャンルの作品出展を募集しております。共同制作にも取り組んでおりますので興味のある方はご参加お待ちしております。

※グループ活動の活動内容につきましては、新型コロナウイルス感染防止対策に伴い状況により一部活動を見合わせる場合がございますのでご了承ください。

1日おためし体験のお知らせ

デイケアでは毎週月曜日から金曜日の9:30～15:30迄の時間でおためし体験を受け付けております。

対象者…介護認定を受けられた方

【内容】…健康チェック・レクリエーション・入浴・グループ活動(体操・脳活性・創作)等

【見学】個別リハビリ・施設内案内

費用…昼食(おやつ代込み) 600円
ご家族同伴・送迎(車イスでも可)も承っておりますのでお気軽にお申し込みください。

問い合わせ (担当 判田)

しおかぜだより 54号(2020年 秋号)
2020.11月発行

社会医療法人同愛会
介護老人保健施設やわらぎ



〒683-0801 鳥取県米子市新開 4-11-13
TEL (0859)31-1000
FAX (0859)31-1003
H P <http://www.douaikai.net/>
E-mail yawaragi@douaikai.net

【初回発刊日】 1996年8月